

福島みずほ症候群他の病魔

JJ1SXA/池

池田信夫氏のブログ(2011年5月…一寸古いが)に書かれていた「福島みずほ症候群」なる言葉を思い出した、「短期的なメリットがわかりやすく長期的なコストがわかりにくいとき、前者だけを追求して後者は他人(あるいは政府)に負担させるモラルハザード」ということだ、簡単に言うと、「主張が目先で格好良ければ、後の結果はどうでも良く、結果が悪ければ、その時は他人のせいにする」という無責任な主張をすることだ、例えば、「命を大事にするために、すべての原発を即刻止めるべきだ」と主張している、原発を止めることによる「安心」のメリットはわかりやすいが、それによって電気代の値上げや経済成長率の低下が起こるとすれば先のことなので、因果関係が良くわからぬい、後になって電力が足りなくなった、経済成長率の低下が起きたという時は、また「政府の失策だ」とか何とか攻撃すればいいと言うことだ。

こんな無責任な主張がまかり通り、世論を誤導するのはとんでもないことだ、この病は重篤だ、しかし、この病に冒されている者(政治家を含め)が多過ぎる。

以前、「村山元首相訪韓と元総理の面々…(17.Feb,2014記)」、「福田さんお前もか(10.Aug,2014記)」と言う記事を書きましたが、今度、河野洋平元自民党幹事長の訪中に翁長雄志沖縄県知事が同行の予定だ、昨年の訪中で河野洋平氏は、中国の汪洋副首相との会談で「謝罪」外交を展開した、煽てられてその気になったのかも知れないが、中国の内政干渉は、はね付けるべきだったが、謝罪している。

今年は、どんな反日外交をするのかと、識者は戦々恐々だ、河野談話の決着はついていない、また、総理の仕事がまともにこなせなかつた村山、鳩山、菅の元総理は訪中で反日外交ともいるべき行為に及んだが、その後、鳩山元総理は、訪口してあることか、クリミヤまで行った、如何に愚かな行為であるかは本人にはわかっていない。

この鳩山元総理のブレーンには、孫崎享元外交官がいる、「翁長沖縄県知事の訪中に期待する」などととんでもないことをブログを書いているのは、天木直人元外交官だ、こんな輩が外交官では、日本が良い方向に進まなかつたわけだ、だが、こんな連中にも支持者はいる、何の病魔に冒されているのか？

相変わらず、偏向放送のテレビ朝日「報道ステーション」、度が過ぎる、放送法第4条を何と心得ているのかだ、「公安及び善良な風俗を害しないこと・政治的に公平であること・報道は事実をまげないこと・意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」となっているが、政治的に公平で無く、事実をまげた報道が多過ぎる、古舘一郎一人の責任では無いだろうが、ひどすぎる、テレビ局は放送法を守ることが前提で免許を受けているのだ、守れないなら免許を返上しろと言いたい、偏向報道を指摘すると、圧力だなどと吼える馬鹿もいるが、視聴者を騙す方が悪質だ、こちらも何の病魔に冒されているのか？ (12,Apr,2015記)